

洋書輸入協会会報

VOL. 7

NO. 5

(通巻73号) 昭和48年5月

総 会 報 告

本協会48年度総会は、5月11日(金) 2時から出版クラブで開催された。出席会員69社中34社、委任状25社、準会員4社、賛助会員7社。

まず司会者洋販渡辺正広氏が開会の挨拶をのべ、ついで寺久保事務長から出席社数、委任状提出社についての報告があり、総会の成立を確認。

理事長代行丸善株式会社中田正雄氏から次の要旨の挨拶があった。「昨年は13社の加入を得て、正会員69社、準会員9社、賛助会員13社を数え、御同慶の至りである。ドルの10%切下げ、円の変動制移行は昨年この業界の大きな関心を集めた問題であった。大商社はこの3月期の決算で大きな利益を計上しているが、洋書業者は、商社とは異なって、カバー・プライスにもとづく輸入をおこなっているのであるから、事情はまったく異なる。われわれは、大きくは日本文化のために貢献するという役割をになっているのであるから、そのために、いかにして適正な利潤を得、この物価高に対処して企業を守っていくかは、重要な問題である。合理的に経営を運営し、日本文化のため、顧客へのサービスのため、従業員の幸のため、大いに努力して、それぞれの会社が発展していくことを期待したい。」



出席者全員が自己紹介をおこなったのち、丸善福田忠氏が理事会報告をおこなった。「理事会は定例は月2回であるが、今期は問題が多く、臨時の理事会の回を重ねた。また懇談会も再三にわたって開いた。また外国出版社代表者との会合も2回にわたって開催し、意思の疏通をはかった。特記すべき問題は、通貨問題、パーガモン・プレスのASP問題、リチャード・エーベル社の問題、コーニッシュ氏、さらにつづいてモーン氏との懇談などであった。理事会としては、協会の発展のため、誠意をつくして、大いに努力した。」

ついで、各委員会報告にうつり、総務（丸善柴田三夫氏）——とくに協会財政健全化のための努力について、会報（極東書店一条元美氏）、渉外（USエシアテック山川隆雄氏）、経営研究（紀伊國屋書店相良広明氏）——とくにデータ整備について、労働研究（東光堂書店石内茂吉氏）——とくに、現在の情報交換程度のことから一歩進むことについて、また今春園の一般的状況について、ダイレクトリー（丸善柴田氏）——73年版第6巻について、雑誌資料（国際書房服部貞夫氏）、雑誌補充（三洋出版貿易鈴木常夫氏）、価格査定（紀伊國屋書店相良氏）——47年度の査定件数135は、発足した43年度の7件、46年度の98件に比すると大きな進歩である、価格査定書、原価値上り証明書の権威が高まり、公認するところがふえている、洋書交換（日本出版貿易村山俊男氏）——昨年の洋書まつりには24社参加、通関（丸善柴田氏）、文教（丸善福田氏）、文化厚生（洋販渡辺氏）の各委員長の報告があった。ついで関西支部長緑書房丹羽正之氏から、支部の現状、活動状況について報告があった。いずれも拍手をもって承認。

丸善柴田氏による決算報告、南江堂佐野正司氏による監査報告、関西支部丹羽氏による関西支部決算報告（監事オヴィス株式会社により監査済み）も、拍手をもって承認された。

竹内書店の業務停止による退会に伴う監事の欠員補充について、理事会からの提案を丸善福田氏がおこない、内外交易株式会社（社長山県有光氏）が満場の拍手のうちに新たに監事に選任された。

ついで48年度予算案上程にうつり、丸善柴田氏が予め準備された表によって、3年間にわたる協会財政の推移を説明したのち、本年度予算案編成の主眼として、健全財政および事業を縮小しないことの二点においてことが述べられた。討論の焦点は会費値上げ問題に移り、紀伊國屋相良氏が理事会の方針として「ことしすぐ値上げをするわけではないが、来年度からはどうにもならない状態になっている。その方法、額については、一年かけて会員の意見をききながら検討したい」旨を提案。これに対し関東書籍株式会社高木公氏、三品書店三品要次氏から賛否両論が述べられた。48年度予算案を拍手をもって可決して総会を終了した。

10分間休憩ののち、4時から懇談会にうつり、活潑に意見の交換がおこなわれて5時閉会。会場をうつして懇親パーティーがひらかれた。三品書店三品氏の音頭で、協会および協会員各社の社業の発展を期待して乾盃したのち、7時まで会員相互の交歓がおこなわれた。

理 事 会 報 告

4月10日（火）

(一) ブリティッシュ・カウンシルのトム・モーン氏と懇談。

同氏はブリティッシュ・カウンシルの任務として、次のように述べられた。

(1) 英国書のプロモーション。(2) 英国出版社への情報提供。(3) 英国出版社のエージェントをつくること——英国の出版社2,600社中現在エージェントのあるもの約125社。(4) アカデミックなタイトルについての業界への働きかけ。(5) 訪日する英国出版社のためのガイド役。(6) 洋書輸入協会と英国出版社との間の潤滑油の役割。

また、青山通りにできる British Trade Centre で、毎年または2年に一回 British Book Fair を、洋書輸入協会の協力を得て、開催したいとの意向も述べられた。

(二) 48年度予算案審議。

(三) 総会について打合せ

5月11日（金）2時—4時、その後7時まで懇親パーティー。

(四) Pergamon Press の問題について検討。

(五) 各方面の情報交換。

4月18日（水）

各方面の情報交換。

4月23日（月）

各方面の情報交換。

5月11日（金）

(一) 総会について打合せ。

(二) 会費値上げについて最終検討を加え、総会への理事会の提案を決定。

(三) その他

洋書入門講座 (Ⅲ)

—— 始めて洋書を取扱われる方のために ——

相 良 廣 明

8 通関業務

和書になくて、洋書にだけあるものは、税関を通す手続きが必要なことである。日本に入ってくるものはすべて関税が掛り、そのために価値が評価される。書籍・雑誌についても必ずこの評価を受けなければならないが、美術書等の例外を除いては、原則的に税金はかからない。厳密に言えば評価の結果ゼロの関税を掛けられたという事である。

この税関を通るときに、評価以外にもいろいろなチェックがなされる。この作業は、日本の法律（関税法及び関税定率法）で決まっていることであり、同時に統計作製のためにも必要なことである。また、通関という作業は、送金という行為と表裏一体を為すものであり、送金と通関の金額が一致して始めてそれは手続きとして完了する。

ヨーロッパ市場で激しいドル売り等の投機が行なわれているが、日本では比較的その被害を免れているのも、一つにはこのような厳重な管理体制があるためということも出来、税金が掛からないものに何故こんな面倒な手続きがいるのか、文化財の輸入に何故にこのようなチェックをするのかという疑問に対する一つの答にもなっている。ともあれ、我々は法治国の企業であるから、法の正当な施行に対しては率先協力しなければならないし、法の妥当性を欠く運用については、納税者として監視の必要がある。

9 洋雑誌の問題

以上述べたことは、主として単行本の分野についてであるが、例外として説明を加えなければならないことが、洋雑誌と文庫本の分野にある。

日本の雑誌は、皆さんも知っているように、一冊売りが主体である。予約といっても、書店に予約を

しておいて、着いた頃に取りに行く、或いは書店から配達されるというのが殆んどであろう。そして代金は一冊毎に支払っていく。この形を、外国ではコピー・セールという。

所が欧米では、このコピー・セールの方が寧ろ少なく、大部分の雑誌は予約制度であるし、それも、年間予約、代金前払いである。それも書店経由というよりも、出版社へ直接年間予約代金を払い込み、自宅又はオフィスへ直送して貰うというのが殆んどである。

他にも日本の雑誌と本質的に違う所がある。それは商業誌の大部分はスポンサーの広告媒体としての価値判断によって、誌代が決ってくる。誌代収入が経営の主体である日本では、アメリカのライフ誌が、何百万部も売れながら廃刊せざるを得ない立場に追い込まれたことは理解し難い出来事である。

だからこそ洋雑誌の中には、トレイド・オンリーといって、特定の職業に携わっている人にしか売らない……つまりスポンサーの広告対象になる人にしか売らないという雑誌があるし、需要があっても、スポンサーが広告代を増さない限り増部数には応じられないというような場合も起こり得る。

日本の雑誌はコピー・セールが主体であるために、未着・欠号というものが少ない。勿論、出版社直送のものでも、宛名が日本字の故に間違いは少ない。若し何かの間違いが起こっても電話一本で用が足りる。とはいうものの、和雑誌の外商は一般に出来るだけ避けたいという傾向がある。というのは、出版社→取次店→小売店の間で、予約が主体でなくコピー・セールが主体であるための、部数の間違いが頻々と起こるからである。それと同時に、雑誌は遠距離外商のための経費計算が加味されていないた

めに、配達先が遠い場合には外商経費が賄えないという、コピー・セール主体であることに伴う矛盾がある。

勿論和書・和雑誌においても、特定大口得意先に近いとか、或いは立地条件の良い繁盛している書店とかを除いては、どうしても書店の数が乱立気味である業界であるので、経費を度外視しても顧客とのコミュニケーションを保持したい、つまりどんどん外商をやりたいという意欲は持っているのであるがいかんせん労務問題で行き詰っているのが実情であろう。

日本の雑誌界も、予約者向けの送料こみの価格体系と、予約代金前払い、予約者へ版元から直送のシステムを、店頭一冊売りの現行制度に併置して小売店に取り次がせる体制を工夫出来れば、充分外商の対象となり得よう。

話が横道にそれたが、洋雑誌は予約者の許へ直送するのが建前であるだけに、いわゆる横文字の宛名で配達される、それもコンピューターによって字数制限を受けており、またタイプだから小さな字である。出版社→郵便局→港→船→港→日本の国際郵便局→集配郵便局→学校や会社の受付→係へと、それこそ幾多の積み替えがある上に、書留にする訳にはいけないから、どうしても間違いが起り易い。その上に、洋雑誌は団体で取られる所が多いから、受付から予約した所へ届くまでも間違いが起こる。間違っても受取っても、日本語ではないから間違いが見過ぎされ易い。等々間違いの要因が山積みしているので、これ等すべて積み重なって、洋雑誌イコール未着欠号問題ということになる。

日本のお客様は、洋書を趣味・娯楽では求められない。殆んど大部分の方が必要あって注文される。また洋書の購入は、その大分部が大学図書館とか、会社の研究所であって、その購入の係の方は直接の需要者ではなく、購入担当者であることが多いから、直接要求を出された研究者との間に立って、責任を感じられることが多い。

そしてまた、日本の場合は、世界に例のない行き届いたサービスを本屋だけでなく各小売店がやっているから、文字通りサービスが行き届くことが習慣

になっている国である。所が我々の仕入先は外国の出版社または取次店である。外国の出版社乃至取次店は、アメリカはアメリカのやり方で我々に供給して来る。それは決して日本のようにサービスの行き届いたものではなく、駄目なものは駄目、自分の責任の負えないことは責任が負えないと断って平気のへいぎである。具合の悪いことに、コンピューターが導入されてから、此のサービス・ギャップは益々広がる傾向を見せている。

いささか誇張した表現を取れば、未着・欠号問題は洋雑誌の輸入業者と、これを受け入れる窓口の係りの方には、永遠につきまとして離れぬ問題でありお叱りを蒙る種であることを今から覚悟しておく必要があろう。未着・欠号をいかに少なくし、これが生じた場合にどうするかは、我々が此の衝にある限り永劫の問題であるといえる。

10 文庫本

ペーパー・バックは、世界中で流行している。売上げは年々増大している。然し、これは単行本とは明らかに性質が違ふ。日本の文庫本とも性質が違っている。

第一に、一冊注文しても駄目というものが、殊にアメリカに多い。1 ダースでないといけないとか合計10ドル以上の注文でないといけ付けないとか種々の制限がつく。それに、文庫本は値段に比較して重さがあるので、送料のパーセントが異常に高くなる。又、文庫本は、製本が悪いので、傷みも激しい。それやこれやで、文庫本は外国定価に較べて或程度円価が割高になる。テキスト等を除いて、文庫本は外商の対象ではない。主として店頭商品である。

11 むすび

種々と申し述べたが、これは未だほんのアウトラインで、洋書とはどんな性質のものかということ素描したに過ぎない。例えばバック・ナンバーとはどんなものかとか、マイクロフィルム、フィッシュとか、磁気テープとかの特殊商品についても、各国別にどんな性質があり、どんな取引の習慣があるのかということにも全く触れていない。いずれ機会があれば、またもう少し詳しく述べてみたいが、今回はこの辺で筆を擱くこととします。

「洋書百選」

京都外国語大学附属図書館

252 ページ、B 5 版、1972

はじめに断っておきますが、この本は京都外国語大学が、創立25周年記念の行事の一環として、記念出版したものです。従って、ごく一定の部数が印刷され、ごく一定の関係者に配布されたもので、当然非売品となっております。この拙文をもって、本会報読者が、「洋書百選」に興味をお持ちになっても、簡単に書店で求める事が出来ないのが残念です。

京都外国語大学は、創立以来意欲的に図書館の充実に力をそそいだ大学で、一般書の充実とともに機会ある毎に稀覯書の充実に手がけ、現在では、その数もかなりのものになっているという。この「洋書百選」は、当大学の洋書の蔵書の中から、敢て初版本とか高価な本といった稀覯書・特殊書に限定せず（これが中心とはなっているが）、比較的親しみ易く、興味深いものを対象に収録されている。編集方法は、選ばれた百点の洋書の最初の「聖母日禱」（15世紀後期、写本）から最後の、Ellis, F. S. ed. — The Works of Geoffrey Chaucer (Kelmscott Press, 1896) まで、ほとんどの本に写真図版を入れ、全部について、京都外国語大学教授の手による一頁ずつの解説がつけられている。百点の洋書は9つのジャンルに分けられ、それぞれ(I)写本（「聖母日禱」他2点）、(II)インキュナビュラ（グーテンベルグ「42行聖書」1450—55、他7点）、(III)辞書・百科事典（「ブリタニカ百科事典」1768—71、他8点）、(IV)政治・経済（ベンサム「高利擁護論」1787、他12点）、(V)地理・歴史（ベルティウス編「プトレマイオスの地理学入門」1618、他14点）、(VI)航海・旅行（クック「南極海航行記」1777、他8点）、(VII)自然科学（アルキメデス「著作集」1558、他4点）、(VIII)文学（バリー「ピーターパン」1906、他33点）、(IX)プライベート・プレス（セルバンテス「ドン・キホーテ」1927—28、他3点）となっている。文学書の比重が数の上で高い様な気もするが、刊行の目的が、特殊書にとらわれず、親しみ易い本になる事も重要な要素として編集された事を考えれば、当然の結果かも知れない。

解説は、それぞれの本の出版された背景、出版の意義と言ったものから、版による相違（例えば、リカード「経済学及び課税の原理」の場合、初版は1817年であるが、著しい改訂増補が行われた1821年の3版が決定版である。）と言った事が要領よく書かれている。又、インキュナビュラの項では、古い印刷技術や印刷業界の様子までうかがい知れて興味がつきない。シェークスピアの二ツ折、四ツ折の事は、我々も時々聞く所ではあるが、First から Fourth までの中、どれが正当であるかなどの考察は、他の本などでは中々知れない事の様です。

全体的に見て日本の一つの大学の図書館の蔵書の中から選んだ事による無理やかたよりは、厳密に言えばあるであろうが、文献学的な興味や趣味をもった人なら、当然相当に楽しめる本である事はまちがいないし、通して見れば一種の洋書史の様な価値を見出し得る本にもなっている。冒頭にもふれた様に普通に入手出来ない出版物である事が残念です。（野村知成）

Doubleday & Co., Inc.

米国出版界で屈指の存在である Doubleday & Co., Inc. は昨年創立75周年を迎えた。学術書の輸入が主体である吾が国では、Doubleday の名は大会社であるにも拘らずそれ程著名ではない様であるが、米國に於ては、読書に親しむものでその名を知らぬものはあるまい。次々と Fiction, Non-fiction の分野に bestsellers を打ち出し、所謂、General Market 向けの書籍の大出版社である。

Frank Nelson Doubleday がブルックリンの一隅でわずか十一、二歳の時、たまたま15ドルの小遣をはたき、印刷機を買い、印刷引きうけますのちらしを配って廻ったのは丁度カスター將軍の部隊がシッティング・ブルに全滅させられた時であった。登校前、朝6時から8時迄の間に機械を動かして作ったのが the Worst Visiting Cards the world has ever seen だったそうだが、それでも週に10ドルの収入があったそうだ。

15歳のとき、Scribner's 社に入社したが、この時も彼は A. S. Barnes & Co. から Mr. J. Blain Scribner 宛の紹介状を偽造して Scribner's 社に飛び込んで行ったのだと云う。

F. N. Doubleday の成功談は非常に興味ある逸話に豊むが、彼が Scribner's 社で大成したのはのは Kipling 全集の出版である。Kipling 自身を口説き落とし、その援助の下に版權を所有している各出版社から権利を買い、この全集を Scribner's 社から出したのだが、この全集は当時の bestseller であった。F. N. Doubleday と Kipling の後年迄続いた厚い親交はこの時に始まっている。F. N. Doubleday が Scribner's 社より独立し Doubleday 社を創立して75年、遂に現在の Doubleday & Co., Inc. に至ったのである。現在の社長は John T. Sargent で、Doubleday 一家の姻戚にあたり、十年ばかり前に来日されたことがあるので御記憶の方もおられよう。

Doubleday & Co., Inc. は前記の一般書ばかりではなく、quality paperback の Anchor Books の出版もしており、また非常に權威ある Anchor Bible のシリーズを現在続刊中である。

また Doubleday は多くの系列会社、部門を持っており、教科書を出版している Laidlaw Brothers や J. G. Ferguson Pub. Co., A V Material をあつかっている Doubleday Multimedia、その他幾つかの Book Clubs、書店などがその傘下にある。また、日本の業界ではおなじみの Feffers and Simons 社は Doubleday & Co., Inc. の wholly owned subsidiary である。

ニ ュ ー ス

- ☆ 英国 Edward Arnold の Chairman and Managing Director, Mr. Anthony Hamilton 4月上旬来日。
- ☆ 西独 Felix Meiner Verlag の Mr. R. Meimer および Manfred Meiner 4月上旬来日。
- ☆ 仏国 Hachette の Mr. G. Hamon 4月中旬来日。
- ☆ 米国 Harpers and Row の Mr. R. Sachs および Mr. Bensh 4月中旬来日。
- ☆ 西独 Springer Verlag の Mr. Goets および Mr. Holtz 4月下旬来日。
- ☆ 米国 Collier-Macmillan の Mr. Jack Freedman 4月下旬来日。
- ☆ アイルランド Irish University Press の Mr. Michael Adams 5月上旬来日。

海外ニュース

「アルムクウィスト社買収さる」

1878年創立という古い歴史を持つ大出版社として世界的に知られている スウェーデンの Almquist & Wiksell は、このほど同国の大コンツェルンである Esselte に買収された。

Almquist & Wiksell は、60年代の始めに独自のチェーンストアを形成し、有名な書店を買い占めるなどして注目を浴びたりした。これら書店の処分は Esselte の意にまかせられたが、再び売却された模様である。(Börsenblatt 西独版、3月30日号より)

—— 紀伊國屋書店提供 ——

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。お手許の Agent List にご記入願います。

(株) 医学書院 ☎ 814-5931~5

Jason Aronson, Inc.

All Books

All Journal:

International Journal of Psychiatry (Quarterly) ¥6,080

International Journal of Psychoanalytic Psychotherapy (Quarterly) ¥6,080

International Journal of Child Psychotherapy (Quarterly) ¥6,080

Butterworth & Co.

C. H. Edwards: Neurology of Ear, Nose and Throat Disease (Apr. '73) ¥5,400

F. W. Wright: Radiological Diagnosis of Lung and Mediastinal Tumours (May '73) ¥14,930

Churchill Livingstone

B. G. Barratt-Boyes et al.: Heart Disease in Infancy; 2nd International Symposium, Auckland 1972 (Mar. '73) ¥7,200

H. E. de Wardener: The Kidney, 4th ed. (Apr. '73) ¥3,370

R. Warwick & P. L. Williams: Gray's Anatomy, 35th ed. (Apr. '73) ¥12,000

(special price) ¥10,000

Grune & Stratton, Inc.

N. O. Fowler: Myocardial Diseases (May '73) ¥6,510

W. F. Friedman: Neonatal Heart Disease (Apr. '73) ¥3,540

G. Onesti & K. E. Kim: Hypertension; 26th Hahneman Symposium (June '73) ¥12,700

P. Samet: Cardiac Pacing (July '73) ¥8,250

S. Karger AG.

W. P. Koella & P. Levin: Sleep; 1st European Congress of Sleep Research, Basel 1972 (May '73) ¥10,080

Monographs on Atherosclerosis Vol. 3; Vitamin Contents of Arterial Tissue (May '73) ¥6,300

Rheumatology Vol. 4; Oculocutaneous Manifestations of Rheumatic Diseases (May '73) ¥7,350

Lea & Febiger

R. S. Dillon: Handbook of Endocrinology (May '73) ¥8,910

A. J. Olszowka et al.: Blood Gases (Apr. '73) ¥2,800

Little, Brown and Co.

W. C. Grabb & J. W. Smith: Plastic Surgery, 2nd ed. (Sept. '73) ¥4,120

Modern Technics in Surgery S. A. Modern Technics in Surgery in 7 vols. (set) ¥126,000

Vol. 1-3 Digestive Surgery @20,000

4-5 Urologic Surgery

6 Vascular Surgery

7 Skin Defects Surgery

The C. V. Mosby Co.

W. W. Sutow et al.: Clinical Pediatric Oncology

(Aug. '73) ¥11,380

Munksgaard

J. C. Pindborg: Atlas of Diseases of the Oral

Mucosa, 2nd ed. (Ready) ¥17,870

Georg Thieme Verlag

E. Burghardt: Early Histological Diagnosis of

Cervical Cancer (Apr. '73) ¥11,380

The Williams & Wilkins Co.

R. Katzman & H. M. Pappius: Brain Electrolytes

and Fluid Metabolism (Apr. '73) ¥10,390

J. Rovinsky & A. Guttmacher: Medical,

Surgical and Gynecologic Complication of

Pregnancy, 3rd ed. (Fall '73) —

メクレンブルグ商会

☎ 591 - 9095

Firmenhandbuch Chemische Industrie 1973-75

(Bundesrepublik Deutschland und Berlin

(West))

1973 (Econ Verlag, Duesseldorf) ¥11,200

Sub - Pr. (until 30 July 1973) ¥9,800

丸 善

(株)

☎ 272 - 7211

Pharmacology and the Future of Man.

5 Vols. Ed. by G. H. Acheson

Proceedings of the 5th International Congress

on Pharmacology, San Francisco, July 23-28,

1972 (Karger) set ca ¥37,480

The Pharmacology of Thermoregulation.

Proceedings of a Satellite Symposium held in

conjunction with 5th International Congress

on Pharmacology, San Francisco, July 1972.

(Karger) ca ¥19,740

Gray's Anatomy of the Human Body. 29th Edition

Revised and edited by C. M. Goss.

(Lea & Febiger) ¥9,400

Albert-Birot. - SIC: La reimpression de la revue

d'Avant-Garde.

Presenté par La Société d'Étude du XX^e Siècle.

(Édition de la Chronique les Lettres

Françaises)

¥19,000

Tzonchev, V., K. Seidel, M. Dimitrov &

K. Herrmann. - The Radiology of Joint Diseases.

Translated by Klaus Herrmann.

(Butterworth) ca ¥12,600

Sauer, G. C. - Manual of Skin Diseases. 3rd

Edition.

(J. B. Lippincott) ca ¥7,260

通 関 統 計

外国貿易概況（大蔵省関税局編、日本関税協会発行）1972年11月号所載。

書籍、新聞、雑誌の輸入額。

昭和47年12月 \$4,538,000 1月以降累計 \$61,108,000

昭和46年12月 \$1,248,000 " \$24,220,000

（註）昭和47年1月より、郵便物による通関分を含むようになったため前年比が急激に上昇している。

営業日変更のお知らせ

6月1日（金）より、週休2日制を採用いたしますので、各土曜日、店を閉じさせて頂きます。お客様や、又同業の方々にはご面倒をおかけしてしまうので、誠に申しわけないとは存じますが、社員の心身ともの健康を保つ事こそ、皆様に対する安定した誠実なサービスを継続し得るもっとも大きな要素であると考えました次第なのです。ご迷惑を心からお詫びいたしますと共に、何卒、この制度が成功いたしますよう、皆様のご理解をお願い申しあげます。

株式会社 国際書房

おしらせとお願い

この会報を会員への連絡、広報などに利用したいとお申出でがありますので、この場合には、枠組みの記事とし、一行について100円いただくことにいたします。どうぞ御利用くださるようお願いいたします。

5月10日

会報委員会

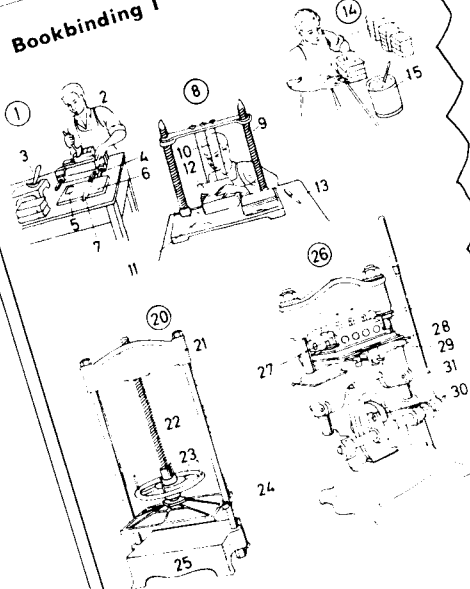
ドゥーデン図解英和辞典 とは

三省堂編修所編 ———— 2,400円/B6判・箱入り・936ページ

精緻な図版を中心として、あらゆる分野の名称を対照させた“English Duden”の日本語完訳版です。図版368, カラー8ページに25,000語を収録。見た目で物の名前や、部分の名称がわかり、また英単語索引、日本語訳で和英も兼ね、ことばの百科として最高のものといえます。

●原寸大の見本ページ(一部)に
そって特色をあげて
みました

177 Bookbinding I



1-38 the hand bookbinding workshop (Am. bindery),

- 1 gilding (finishing) the back of the book;
- 2 the gilder, a bookbinder
- 3 the gilding tool; here: a pallet
- 4 the gilding press (laying press)
- 5 the gold leaf (gold foil)

三省堂

東京・神田神保町1-1

★おもな特色

精巧多彩なカットと豊かな語い

約25,000の単語と数千のカットを収録。関連する単語とカットには一連の同番号をつけ、見開きページまたは同じページに収め、絵と単語の一対一の対応が可能。

図版番号

カットをテーマ別に368群のグループに分け、番号をつけてタイトルとともにページ上部に示し、巻頭の目次・巻末の日本語訳との対応が容易にできる。日本語訳タイトルの後に本文のページ数を()内に示した。

カット番号 I

一つ一つのカットの各部と単語とに同じ番号をつけて一対一の対応が可能。

カット番号 II

部分名称と合わせて全体の名を示すものは、カットの番号を○で囲み、単語にはコロン(:)をつけ、必要に応じて太字で表示。

日本語訳

図版番号・カット番号を添えて、本文英語部分そのままの順に配列して巻末に一括。

位相語・類語・縁語

イタリック体で語の位相を示した英米との差異を表した。同義語・類語などは()内に示し、必要に応じて関連語も並記した。

177 製本 I (318)

1-38 手作業による製本作業、

- 1 背の箔(金)押し(金付け);
- 2 製本工;
- 3 箔押し用工具(いちごう「銀杏」);
- 4 横締め器;
- 5 金箔;
- 6 金箔切断用下敷き;
- 7 金箔切断用ナイフ;
- 8 手かり作業;
- 9 かり器のフレーム;
- 10 かり用の糸;
- 11 糸玉;
- 12 かり終わった本の一部;
- 13 製本用ナイフ;
- 14 背詰め作業;
- 15 膠(糊)ボット;
- 16 断裁器(押切り);
- 17 バックゲージ;
- 18 フット・ベダル;
- 19 断裁刃;
- 20 締め機;
- 21 用枠;
- 22 スクウェア状の軸;
- 23 加圧用ハンドル;
- 24 加圧盤;
- 25 ベース(定盤);
- 26 箔押し及び浮出し用プレス、手グレスの一つ;
- 27 加熱盤;
- 28 前後にスライドする作業用定盤;
- 29 定盤;
- 30 トグル装置;
- 31 ハンドレバー;
- 32 ガーゼまたは薄い布をとじ込んだ本の部分;
- 33 背に使う材料(ガーゼまたは薄い布);
- 34 かり(糸とじ);
- 35 ヘドバン(はなざね);
- 36 丁合用回転テーブル;
- 37 折の積重ね(折丁順に);
- 38 テーブル回転用モーター;

昭和48年5月 通巻第73号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル302号室 ☎ 271-6901

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル ☎ 371-5329